

1. 科学 大塚久雄がいうように、自由意思が入るものを科学として考えているのだろうか?にも矛盾得
しましたが、ヴェーバーのいうように目的-手段を意識すれば、意味がツクが可能となり、
自然科学より意味がはきりする点にも矛盾得してしまいました。

社会科学と自然科学が似ていても社会科学の方が難しいと思いました。
然、社会科学の方法は考え方のよって様々な意見が来ている。しかし、自然、社会と易に区別できないう面白く思った
人間の心理的なものを視野にいれて考える複雑な学問だと初めて気づきました。

私たちが、文系的な目線で見ると、理系的な目線で見ると、科学になったり、
人文学になったりするのかなと思いました。 まず、ちょっとだけ、言葉について書きます。今回の
話は「自然科学」と「社会科学」について、「実験科学」の観点からお話ししています。人文科学の話は
していません。次に、強調しておきたいのは、学問の分類に、「対象(何を)」による分類法と、「方法
(どうやって)」による分類法があるということです。この講義では、方法に注目し、幅広い話をするこ
とを目指しています!最後に、皆さん、いろいろな感想を書いてくれたことは、とても良いことです!な
お、私自身は、大塚(あるいはヴェーバー)の考え方に全面賛成はできません。そして、方法がかっちり
していないまま議論する社会科学は、自然科学よりも、数段、難しく感じます。

具体から抽象へ導ける場合とそうでない場合の差を感じました。これもいい観点!帰納的に何か言える
か、は実験科学よりも広い範囲を含む科
学の考え方ではないでしょうか。
今回の講義は何を原因とし何を結果と見るか、それを結びつけて
いいのだろうか考えているととても難しい内容だと感じました。

LAセミナーの授業で「他人が検証できないものは、科学とは言えない」という話をしたことがあった
先取りしていましたね!
今回の授業を受けて科学の認識が足りなかったと感じた。うーん
科学って色々な意味でとらえられる。難しい。反証不可能は科学ではない。
反証できる科学と反証できない科学が分けられる。
気象学などの反証できないものも科学と扱うことに
重要なことだと私は思います!
疑問を持つ人はいるんだなと今日の授業で思いました。そして、反証ができない
学問を科学じゃないと否定する人もいたんだなと驚きました
要はあると思いま
す!!

今更 反証と検証を考えると、今更のものは検証が容易な事柄
思っていたが、反証可能な事例もあることが分かった。◎ 選択大切
反証できない方がよいのではないかと思う。先がわかってしまっ
たら少しこわくなってしまふ。

もし、将来的に地球の70%を占めて実馬を飛ばしたとしたら、人間の
70%を占めて実馬を飛ばしたとしたら。はいかす、新しい地球や人を実験材料にするには、同様に倫理的に問
地球がどうか 題があるでしょう!
感想がこうなら、それと大きな問題がこのような選択をしてたら
今更がどうなっているのだろうかと思議に思いました。
ピクサーで最も売れなかったといわれ
る映画「アーロと少年」では、地球に隕
石が衝突せず、恐竜が絶滅しません!

2. キリスト教 カトリックは免罪符を販売した団体なのでちょっと傲慢で怠惰な印象があった。カトリック信者
と、教皇は区別して
プロテスタントと資本主義は相性がよく、お金が回りやすいというのを知り、アはカトリック
考えるべきですね。
は資本主義と相性が悪いのか、相性のいい主義はあるのかと疑問に思いました。 カトリックの中でも
イエズス会のように
私はカトリックには、民主主義が合うのではないかとなんとなく思っています。 改革もしました。
私の行っていた中学・高校はカトリックでした!カトリックだから、というよりも、キリスト教が民主主
義と相性がいいように思います。(これをヴェーバー風に立証することはできるか?)

3. Memento Mori

死というゴールがあることは、やはり、本質的に重要で、ABCの方法を適用することができない問題に直面するわけです。だから選択が重要になります。

死んでほっと、本物にやり直せないし、それを「別の選択をしていけば」という反証はできないんだと、思いましょ
もし今死んだら絶対後悔するな〜とかって思い、これなら自分が何をすべきかが真実に考えたって思っ所。

4. 選択

「今日の選択」という曲知ってます！0655大好きです！

私は2355専門です！
選択をよく意識させてくれるいい曲です。

私も補講に行くか、行かないか、ギリギリまで考えていました。行かなかった場合、その後後悔するところのいい曲です。

思い、私は行くことを選択しました。今朝の私のように、現在までにたくさんの選択を選んだことが
あると学びました。

まず、自分の選択を意識しましよ

ちゃんと自分の意思で、動いている瞬間は人生の中でどれくらいあるでしょうか？

よく考えてみると、私たちの人生は選択の人生で、しかもそのほとんどは
実は反証できないことだらけなのかなと思いました

検証できない人生は、まさに、選択の連続です！

繰り返し反証出来ないこと、日々、生活

に溢れているのだと思いました。その時に考えてみると、私たちが生きている世界の流
は選択、繰り返し連続してきた上にあるのだと思いました。

人生だけでなく、国の政策もそうです。そうでなかった日本でも何が起こるか、確かめることができません！

反証できない事例が多くあることに驚いた。自衛隊前かいたから戦争を防いた
ということは当たり前のような感じに思っていたが、実際はどうか分らないものなんだと
思った。

運まかせにするということですか？

選択の科学とはただ確率の問題では無いのかなと感じました。

その選択がどうであれ人間は後悔するようになっているので自分
の選択に自信を持つたい

選択に自信を持つためにはどうすればいいでしょうか？

5. 学問基礎

最大級のほめ言葉と受け取りました！学問基礎の科目群は、皆さんを学問へ招待する

この講義を受けて、社会学に興味を持ち始めた。この講義は新たな発見や様々な

科目であり、LA学群の学生として

き、かけを身えてくれる。プロテスタントやカトリックのお金の差について研究していた人がいた

複眼的に考えられるようにするための

なんておどろいた。

今日の授業を通し、私は人間理解の物理学の授業を

「人間理解」ですから、ABCの方法（を中心とした科学の方法）が私たちにどうかかわるか、

受けているのに幾ら科目を受けているかのように感じた。

また、それを身につけた人類が

どんなことをしてきたのか、それを考えるためには、他の学問にも登場してもらう必要があると考えます。

6. その他

前回のソロン・アッシュの同調実験とスタンフォード監獄実験を知っ

人間の行動は理性的であって欲しいし、同調現象による集団の暴徒化、虐待、不寛容などはなくなって欲しいです。しかし、そのためにも、また、犠牲になった

てから今日まで、人は狭い社会に入るとこんなにも悪に墮ちれるのかと

人々のためにも、人間がそのような習性があることを覚えておきましょう！

少し凹んでいました

Q. マルクスとはあの有名なマルクス主義の人ですか？

その通り！ちなみに、盟友のエンゲルスが書いた本のタイトルが「空想から科学へ」でした。社会主義を単なる夢物語ではなく、科学的に理論づけていこう、という著作です！